



Title	吐魯番出土文物研究会會報 第58号 : 唐代領抄文書 特集
Author(s)	
Citation	吐魯番出土文物研究会會報. 1991, 58, p. 1-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/78869
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

中央アジア出土唐代領抄文書一覽

關尾史郎 編

【はじめに】

唐代、各種の税の納入者に対して官府・官員から交付された文書としては、トゥルファンから将来された大谷文書中の納税抄（その大部分はいわゆる周氏一族文書である）が広く知られていたが、池田 温氏の『中国古代籍帳研究－概観・録文－』にも集録されているように、トゥルファンからはこのほかにも納税抄が出土しているし、また同種の文書はトゥルファンに限らず、クチャやホータンなど中央アジアの各地から出土しているのである。さらに近年、『吐魯番出土文書』の公刊によってトゥルファンからも新たに多数の納税抄が出土していることが明らかになった。このうちホータンから出土した納税抄などは、その出土地からして、これらを唐代文書として一括してしまうことには異論もありえようが、唐の西州治下にあったトゥルファンで作成された文書と様式や機能を等しくしており、少なくとも文書行政システムといった観点からすれば、両者をきりはなして考えるのは正しい方法ではないだろう。

私はこれら一連の文書について、先行する高昌国の條記文書とあわせて集成の作成・編集を予定しているが、ここではとりあえずトゥルファン、クチャ、およびホータンといった出土地ごとに納税抄を作成＝交付年代順に表示することにした*。唐代の徴税と納税のシステムと実態に関する一次史料であるにもかかわらず**、この文書群の全貌を把握する作業は現在まで試みられることがなかったばかりか、そのような作業の必要性すら正当に認識されてこなかったことを想起すれば、このような細やかな試行にもいくばくかの意味があるだろうと思っていることである。

なお従来この文書は納税抄と呼ばれていた。それはこれが税の納入を証明するための書き付けで、しかも実際に本文の末尾が「抄」字で終わっているという性格と様式の両面から理由づけができるが、新たにトゥルファンから出土したものから、元来は末尾が「領」字で終わるのが一般的であったことが明らかになった。またこれを納税抄と呼ぶと、宋代の納税抄と、その文書としての性格や機能の相違を明確にできなくなるおそれもある。したがって以下では表題も含め、「納税抄」にかわって「領抄文書」という呼称を用いることとする。

*表はいずれも、内陸アジア出土古文献研究会例会（一九九一年二月一六日 於東京東洋文庫）において、「中央アジア諸地域から出土した唐代の領抄文書（納税抄）とその周辺」と題した報告を行なった際に配布した資料を一部補正したものである。

**ホータンからはほぼ同時代の付札木簡も出土しているので、今後の検討いかんによっては文書の機能について豊富な新知見も期待できよう。

事務局（連絡先） 〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒川正晴 方

TEL 0424(81)4633

吐魯番出土文物研究会 (The Research Society for Turfan Relics)

表 I トウルファン出土唐代領抄文書一覽

No	文	書	表	題	交付者の官職	末尾表記	文書番号 (整理番号)	録	文	備	考
1	貞觀廿三	(649)年十二月	趙延洛?	送死官馬皮・肉價練抄	典	領	597AM302:35/2	文書V, 33			
2	永徽五	(654)年七月	武城鄉范阿伯・張埴子納刺薪抄	前官3	領	領	547AM10:49	文書V, 83		4と同紙	
3	永徽五	(654)年九月	武城鄉范阿伯・張埴子納刺薪抄	里正	領	領	607AM338:32/5	文書V, 140		3と同紙	
4	永徽五	(654)年九月	武城鄉范阿伯・張埴子納刺薪抄	前官2	※	領	607AM338:32/5	文書V, 140			
5	永徽五	(654)年九月	武城鄉范阿伯・張埴子納刺薪抄	※	領	領	607AM337:11/14	文書V, 113			
6	顯慶三	(658)年九月	趙知德上伊州車牛道價銀錢抄	※	領	領	607AM74:1/3	文書VI, 156			
7	龍朔三	(663)年五月	范歡進送右果毅仗身錢抄	※	領	領	607AM338:32/6	文書V, 143			
8	龍朔三	(663)年五月	范歡進送右果毅仗身錢抄	史4・倉督2	※	領	607AM338:32/7	文書V, 143			
9	龍朔肆	(664)年十二月	崇化鄉里正史玄政納却微糧小麥抄	史4・倉督2	※	領	647AM35:23	文書VII, 387		末尾「五人同收了」は別筆	
10	麟德元	(664)年十二月	崇化鄉里正史玄政納却微糧小麥抄	史4・倉督2	※	領	647AM35:33	文書VII, 388			
11	年次未詳	(7世紀中期)	范歡進送右果毅仗身錢抄	典	領	領	607AM337:11/17	文書V, 109			
12	年次未詳	(7世紀中期)	范歡進送右果毅仗身錢抄	前官2	領	領	607AM337:11/20	文書V, 110			
13	年次未詳	(7世紀中期)	三月口憲納地子粟・草抄	主簿*	領	領	607AM337:11/15	文書V, 114		15と連貼	
14	年次未詳	(7世紀中期)	某人納地子粟・草抄	主簿*	領	領	607AM337:11/18	文書V, 119		14と連貼	
15	年次未詳	(7世紀中期)	九月范海績納地子粟・草抄	主簿*	領	領	607AM337:11/18	文書V, 120			
16	年次未詳	(7世紀中期)	九月范海績納地子粟・草抄	主簿*	領	領	607AM337:11/19	文書V, 121		18と同紙	
17	年次未詳	(7世紀中期)	十二月某人納?仗身錢殘抄	主簿*	領	領	607AM337:11/16	文書V, 121		17と同紙	
18	年次未詳	(7世紀中期)	五月某人納?折衝地子青稞殘抄	主簿*	領	領	607AM337:11/16	文書V, 121			
19	年次未詳	(7世紀中期)	折衝地子青稞殘抄	※2	領	領	607AM338:32/8	文書V, 147		※	
20	如意元	(692)年八月	史玄政付長行馬價銀錢抄	里正	抄	抄	647AM35:28	文書VII, 441		※	
21	久視元	(700)年八月	執衣曹伏生納課錢抄	典	抄	抄	大谷 8077	籍帳, 128			
22	神龍三	(707)年十月	張甲裏入利錢抄	※	抄	抄	687AM108:21	文書VIII, 37		※	
23	景龍二	(708)年四月	更給源感德神龍二(706)年十月買長運死驢・皮抄	※	抄	抄	727AM223:25-1	文書VIII, 260			
24	景龍二	(708)年六月	順義鄉張感德折運交納錢抄	主師	領	領	727AM223:25-2	文書VIII, 261			
25	年次未詳	(7世紀末期)	某人納折衝地子殘抄	典	領	領	大谷 1071	集成I, 15			
26	年次未詳	(7世紀末期)	某人納折衝地子殘抄	典	領	領	大谷 3388	集成II, 88			
27	開元廿七	(739)年	周通生納關官草口價錢抄	典	抄	抄	大谷 5806	籍帳, 189-3		28~33, 35, 40と連貼	
28	開元廿八	(740)年十二月	周通生送別駕職田地子草抄	典	抄	抄	大谷 5807	籍帳, 189-4		27, 29~33, 35, 40と連貼	
29	開元廿八	(740)年十二月	周通生送別駕職田地子草抄	典	抄	抄	大谷 5805	籍帳, 189-2		27, 28, 30~33, 35, 40と連貼	
30	開元廿九	(741)年三月	周祝子納修軍營鑛地子抄	典	抄	抄	大谷 5808	籍帳, 189-5		27~29, 31~33, 35, 40と連貼	
31	開元廿九	(741)年六月	周祝子送別駕職田地子抄	史	抄	抄	大谷 5809	籍帳, 189-6		27~30, 32, 33, 35, 40と連貼	
32	開元廿九	(741)年六月	周祝子納別駕職田地子抄	史	抄	抄	大谷 5809	籍帳, 189-7		※27~31, 33, 35, 40と連貼	
33	開元廿九	(741)年十一月	周通生納別駕職田地子抄	史	抄	抄	大谷 5810	籍帳, 189-9		※27~32, 35, 40と連貼	
34	開元廿九	(741)年十一月	周通生納別駕職田地子抄	史	抄	抄	大谷 5818	籍帳, 192-1		三回納入	
35	開元廿九	(741)年十二月	周祝子納別駕職田地子抄	里正	抄	抄	大谷 5809	籍帳, 189-8		27~33, 40と連貼	
36	開元廿九	(741)年十二月	周祝子納別駕職田地子抄	里正	抄	抄	大谷 5834	籍帳, 189-8		44, 45と連貼	
37	開元廿九	(741)年	某人付稅錢殘抄	刺頭	抄	抄	BL OR8212-M347 Kao. 093	籍帳, 191-1		38, 39と同紙	
38	開元廿九	(741)年	某人付稅錢殘抄	刺頭	抄	抄	BL OR8212-M347 Kao. 093	D.C., 162=		37, 39と同紙	
39	開元廿九	(741)年	陽付修赤亭鑛夫價錢抄	典	抄	抄	BL OR8212-M347 Kao. 093	籍帳, 188		37, 38と同紙	
40	開元廿九	(741)年	陽付修赤亭鑛夫價錢抄	典	抄	抄	大谷 5804	籍帳, 189-1		27~33, 35と連貼	
41	開元年間	(713~741)?	周口?納稅錢・計帳錢殘抄	里正	抄	抄	大谷 4890	籍帳, 190-1		42と連貼 數回納入	
42	開元年間	(713~741)?	周口?納稅錢・計帳錢殘抄	里正	抄	抄	大谷 4890	籍帳, 190-2		41と連貼 數回納入	
43	開元年間	(713~741)?	周口?納稅錢・計帳錢殘抄	堀頭, 刺頭	領, 抄	抄	大谷 5812	籍帳, 192-4			

[illegible]

表Ⅱ クチャ出土唐代領抄文書一覽

No	文	書	表	題	交付者の官職	末尾表記	文書番号 (整理番号)	録	文	備	考
1	丙午 (826?)	年三月	將軍世	題	納俸子錢抄	※	黄文弼氏将来	塔里木, 95			
2	年次未詳	□奴	等納課	錢抄	※	抄	タハ, 157-6	TCAM, 230			
3	年次未詳	某	人納課	錢抄		抄					

録文欄の略号は以下のとおり。
 塔里木: 黄文弼『塔里木盆地考古記』北京 科学出版社・考古学専刊丁種第三号 一九五八年/TCAM: R. Hoernle, "Three further Collections of Ancient Manuscripts from Central Asia", Journal of Asiatic Society of Bengal, Vol. LXVI (part I) No. 4, 1897. なお, R. Hoernle, "A Report on the British Collection of Antiquities from Central Asia Part II", Journal of Asiatic Society of Bengal, Vol. LXX (part I) Extra No. 1, 1901. 併照。

表Ⅲ ホータン出土唐代領抄文書一覽

No	文	書	表	題	交付者の官職	末尾表記	文書番号 (整理番号)	録	文	備	考
1	已 (789?)	年十一月廿五日	六城潘野	鑒捺・可里沒來納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-6	K. T. IV, 173		六回納入	
2	已 (789?)	年十一月廿六日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-9	K. T. IV, 173			
3	已 (789?)	年十一月廿七日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-15	K. T. IV, 174		二回納入	
4	已 (789?)	年十一月廿七日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-13	K. T. IV, 174			
5	已 (789?)	年十一月廿七日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-25	K. T. IV, 175			
6	已 (789?)	年十一月廿七日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-17	K. T. IV, 174		四回納入	
7	已 (789?)	年十一月廿九日	六城薩波	屋婆・家人沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-21	K. T. IV, 175			
8	已 (789?)	年十一月廿九日	六城薩波	末土・瑟呢洛納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-23	K. T. IV, 175			
9	已 (789?)	年十二月二日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-27	K. T. IV, 176			
10	已 (789?)	年十二月二日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-26	K. T. IV, 175			
11	已 (789?)	年十二月七日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-30	K. T. IV, 176		二回納入	
12	已 (789?)	年十二月九日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 16-29	K. T. IV, 176			
13	已 (789?)	年十二月廿一日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Hedin 15-1	K. T. IV, 173			
14	已 (789?)	年十二月廿二日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Dumaqu C	S. D. tv, 123			
15	已 (789?)	年十二月廿二日	六城南	年沒納進奉	判官・薩波	抄	Dumaqu D	S. D. tv, 123			
16	貞元六 (790?)	年三月六日	六城沒達門	蘇里沒納進奉	判官・薩波	抄	BLOR8212-M456Mr. tagh0634	D. C., 187			
17	貞元六 (790?)	年十月四日	善政坊羅勃口	・神山納青麥抄	判官・薩波	抄	BLOR8212-M456Mr. tagh0634	D. C., 187			
18	貞元六 (790?)	年十月四日	善政坊羅勃口	・神山納青麥抄	判官・薩波	抄	BLOR8212-M449 Balaw. 0160	D. C., 186			
19	年次未詳 (8世紀末期)	十月	渴摩	口納縵花布抄	判官・薩波	抄	BL OR8212-M445 Y. I. 030	D. C., 185			
20	年次未詳	未詳	魏瑟拱	支殘	判官・薩波	抄	BLOR8212-M450 Balaw. 0162	D. C., 186			
21	年次未詳	未詳	魏瑟拱	支殘	判官・薩波	抄	BLOR8212-M451 Balaw. 0161	D. C., 187			

録文欄の略号は以下のとおり。
 K. T. IV : H. W. Bailey, Khotanese Texts, IV (Cambridge Univ. Press, 1961). / S. T. tv: H. W. Bailey, Saka Documents, Text Volume (London, 1968). / D. C. : H. Maspero, Les Documents Chinois (London, 1953).
 また西暦への比定については、張廣達・榮新江「關於和田出土于闐文獻的年代及其相關問題」(『東洋學報』第六九卷第一・二號、一九八八年)や、高田時雄「コータン文書中の漢語語彙」(尾崎雄二郎・平田昌司編『漢語史の諸問題』京都大学人文科学研究所、一九八八年)の成果に負っている。